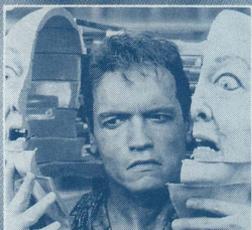


SCHWARZENEGGER

TOTAL RECALL

トータル・リコール

シートベルトを締めて、帽子を両手でしっかりと押さえ、
 さもないと「トータル・リコール」にフック飛ばされるゾッ、
 SIXTY SECOND PREVIEW



カール・プロ超大作
 カラー作品/アメリカ映画
 東宝東和提供



見たこともない過去 どこか懐しい未来 今ではない いつか——そして、私でない誰か……

近未来・地球——ダグ・クエイドは美しい妻ローリーと共に、平凡だが満ち足りた生活を送っている。彼を唯一悩ませているのは、毎夜うなされる火星の夢だった。——深紅の空、灼熱の原野、宇宙服を着た自分の腕の中には、ブルネットの髪の魅力的な女。次の瞬間、パイザーは破裂し、クエイドは減圧していく。どこまでも、どこまでも——。

人工的な記憶移植によって擬似旅行を体験させてくれる(リコール社)の存在を知った彼は、さっそくここを訪れる。彼が選んだプログラムはもちろん(火星旅行)。だが、記憶移植は失敗に終わり、思いもよらぬ事実が判明する。彼はかつて実際に火星にいたことがあり、クエイドとしての記憶は全て、何者かに人工的に創られたものだったのだ。

この時から、彼は命を狙われ始める。事態が理解できないまま追手を逃れるうちに、失われた記憶の一部が明かされていく。クエイドの本名はハウザー。火星の諜報員だった彼は、支配者コーヘイゲンの右腕として働いていたが、彼の謀略に気づいたために記憶をすりかえられたのだ!!

全てを解く鍵は、火星に——。とまどいながらも、本当の自分を求めて火星に向かうクエイド。火星では、コーヘイゲンの専政に対するレジスタンスの反乱が続いていた。クエイドはレジスタンスの一員であるメリナに出会う。彼女こそ、彼の夢に毎夜現われる女だった/クエイドとハウザー、虚構と現実——今まで信じていたものが、全て崩れ去ろうとしていた…。

(上映時間1時53分)

12月〈新春〉
 ロードショー!

日本劇場

新宿プラザ

新宿武蔵野館

池袋シネマサンシャイン5

吉祥寺スカラ座

相鉄ムービル3

新宿スカラ座

渋谷ジョイシネマ1

上野宝塚

川崎チネッタ1

横浜東宝会館